



参加と協働のページ



まずは受け止めることを大切に

ボランティアセンターの相談窓口から

かながわボランティアセンターには、年間二、〇〇〇件を超える相談が寄せられています。その内容は「ボランティアをお願いしたい」「ボランティアに参加したい」をはじめ、多岐に渡っており、窓口では「まずは受けとめる」ことを大切に対応しています。

ミスマッチがないように

ボランティアやボランティア活動という言葉は、私たちにとって身近なものとして浸透してきました。

しかし、「頼む」「頼まれて」という関係での活動は、多くの方々はまだ不慣れです。そのため、依頼側とボランティア側の期待や思い、活動のイメージがすれ違い、ミスマッチが起こる可能性があります。ボランティアセンターの相談窓口では、ボランティアを依頼する側、活動する側、双方への相談を通して、ミスマッチの防止に努めています。

ボランティアはいませんか？

『家族が施設を利用しているのですが、病院へ行く際は家族が付き添ってほしいと言われ、対応できなく困っている。協力していただけるボランティアはいませんか』

ボランティアを依頼したいという相談でしたが、利用しているのはどのような施設かなど、詳細を確かめ

るやりとりの中で、相談の内容が施設の対応についての不満へと変わり、施設側の意向に対して相談者が困惑している様子がうかがえました。

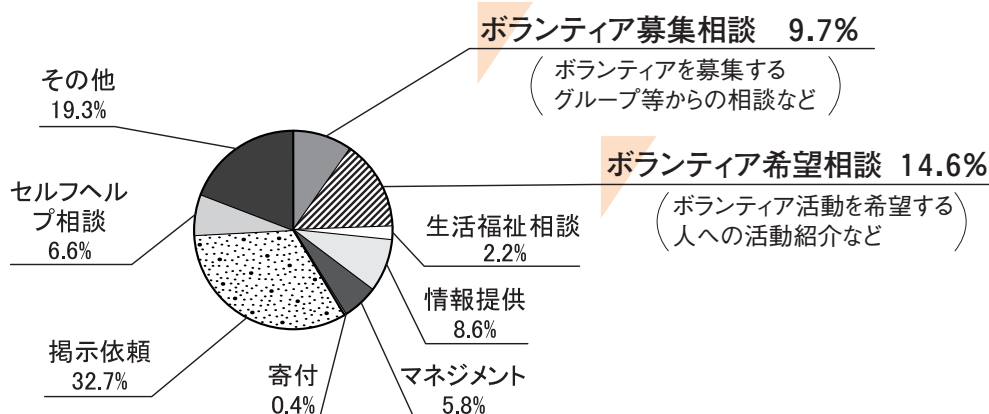
そこで、まずは相談者が施設からの依頼をどのように受け止めたらいいのかを理解・納得することができるよう、相談者のお住まいに近い、関係の相談センターを紹介しました。後日、相談者から『身近で相談できる場所がわかってよかった』と連絡がありました。

身近なところでの相談

ボランティアセンターの相談窓口には様々な相談が寄せられます。ボランティアでの対応が困難な場合には『対応できるボランティアはいません』と言うだけではなく、相談者の身近なところにも相談ののつてくれるところがあることに気づいていただけるよう対応しています。

「ボランティア活動をしたい。活動先を紹介してほしい」という方も、お住まいの地域のボランティア

平成18年度 かながわボランティアセンター相談実績(2445件)にみる相談分類の内訳



センターを紹介するなどし、本人が身近なところで活動の場を見つけ、力を生かせるよう対応しています。(かながわボランティアセンター)